

総合戦略効果検証評価表

令和5年度実施事業評価

みんなで未来をつくるまち

～手と手を取り合い住みつづけたい しめ～



令和7年3月

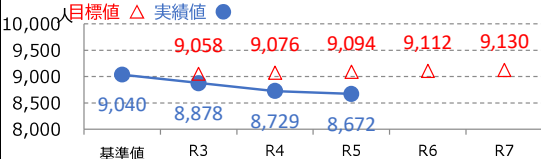
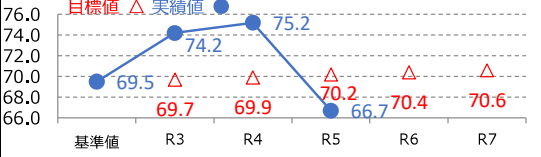


志免町 経営企画課

基本目標1(総合戦略)

総合戦略効果検証評価表 (事業実施年度:令和5年度)		第2期総合戦略 計画期間<<令和3年度~7年度>>	
基本目標	1. 出産・子育ての希望をかなえる	関係課	子育て支援課、福祉課、健康課、まちの魅力推進課、住民課
関連するSDGsゴール	       		

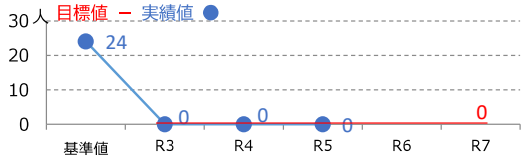
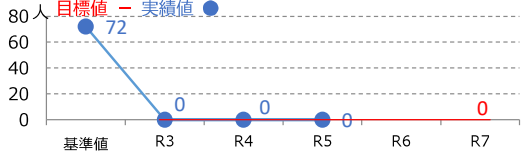
1. 数値目標の達成状況

数値目標	単位	基準値 目標の方向性	R5目標値 R5実績値	実績値の年次推移	判定
0~17歳の子どもの人数 【総合戦略】	人	9,040 ↑	9,094 8,672	 目標値 ● 実績値 △ 基準値 9,040 R3 9,058 R4 9,076 R5 9,094 R6 9,112 R7 9,130 8,878 8,729 8,672	b
子どもを育てやすいまちだと感じる 保護者の割合 【総合戦略】	%	69.5 ↑	70.2 66.7	 目標値 ● 実績値 △ 基準値 69.5 R3 69.7 R4 75.2 R5 70.2 R6 70.4 R7 70.6 69.9 66.7	b

判定:a …目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない、c…目標を達成していない

2. 具体的な施策の実施状況と方向性

1-a 子育てしやすい保育環境を整える	所管課
●待機児童の解消 ●保育の質の向上 ●多様なニーズに対応した保育の充実と保育環境の改善	子育て支援課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R5実績値	実績値の年次推移	判定
待機児童数(保育園) 【総合戦略】	人	24	0		S
1-a			0		
待機児童数(学童保育所) 【総合戦略】	人	72	0		S
1-a			0		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

待機児童の解消	多様な運営主体の参画の促進を図りながら、地域の保育需要にあった認可保育園や学童保育所などの整備を行うとともに、保育士の働きやすい環境を整えるなど、保育人材の確保を進めることにより待機児童を解消します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・教育保育施設の利用などについて、多様なニーズにこたえられるよう窓口や支援センターで機能の説明を強化し、利用者にとって選択の幅を増やし、R6年4月1日現在の待機児童0名を維持した。 ・保育士や学童支援員の負担軽減のため、町立保育園、学童保育所のICTの本格稼働を行い、利用を促進した。 ・保育士や学童支援員の処遇改善のための補助を実施した。 ・町立保育園の保育士が保育業務に専念できるよう、園舎の清掃業務等をシルバー人材センターに委託した。
課題	・町立保育園の保育従事者が不足している(会計年度任用職員の応募数減・育休等に伴う代替保育士の未補充)。 ・私立保育園の保育士が不足している。
R7年度取り組み方針	・町立保育園においては、保育業務に従事する雇用の幅をさらに広げる。
保育の質の向上	保育園などにおいて、子どもの最善の利益が優先して考慮されるよう研修機会の充実などにより保育の質を向上させます。【総合戦略】
主な取り組み状況	・町立保育園の保育士に対する独自研修の実施や研修参加を計画的に行った。 ・町立保育園が主催し、町内保育施設の職員を対象とした研修を実施した。 ・適切な保育等の提供のため、認可保育園等については県と合同で指導監査を行った。 ・学童支援員に対して、研修を実施するとともに放課後児童支援員の資格取得を推進した。
課題	・研修機会の確保が人的・時間的に難しい。
R7年度取り組み方針	・園長会等を活用し事例や課題を共有することにより、保育の質の向上に繋がる情報交換の場の構築に取り組む。
多様なニーズに対応した保育の充実と保育環境の改善	個々のライフスタイルや多様なニーズに対応した保育を充実させるとともに、保育環境を改善します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・多様な保育を充実させるため、私立保育園が実施する延長保育、一時預かり保育に対し補助を行った。 ・町立保育園の一時預かり事業の利用時間を変更し利用を拡充した。 ・ファミリーサポートセンターの子育て援助活動会員への連絡・調整を行うとともに、講習会を実施し会員増に取り組んだ。
課題	・保育士不足により私立保育園が実施する一時預かり事業が縮小傾向となっている。 ・ファミリーサポートセンター事業において、まかせて会員の高齢化等により援助活動ができなくなる可能性がある。
R7年度取り組み方針	・多様な保育を充実させるため、私立保育園が実施する延長保育、一時預かり保育に対し補助を行う。 ・ファミリーサポートセンター事業のまかせて会員増加に対する広報等周知を行う。

基本目標1(総合戦略)

1-b 子育てに関する情報提供や相談・交流できる環境をつくる	所管課
●子育てに関する相談体制の充実 ●子育て世帯の交流機会の充実 ●子育てに関する情報発信の充実	健康課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R5実績値	実績値の年次推移	判定
子育てについて情報を知りたいときや相談したいときの相談体制に満足している町民の割合 【総合戦略】	%	77.7	80.0		S
1-b			92.3		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

子育てに関する相談体制の充実	子育てに関する不安感や負担感を軽減できるよう、わかりやすく気軽に相談できる体制を充実させるとともに、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行います。【総合戦略】
主な取り組み状況	・子育て支援センターにおいて、子育て相談の充実を図るため、子育てに関する様々な情報を提供し、月齢や年齢に応じた講座等の実施した。 ・子育て世代包括支援センターにおいて、保健師等が妊娠期から子育て期までの疑問や質問、相談に対応した。
課題	・一つの相談窓口では解決できない複雑で多様な相談が増えた。
R7年度取り組み方針	・地域に出向いて子育てサロンや子育て相談を実施する。 ・子育てに関する相談や支援充実のため、体制を整備するとともに、各関係機関との連携を進める。 ・「子ども家庭センター」の設置で、母子保健と児童福祉が連携し、一体的な相談体制を継続する。
子育て世帯の交流機会の充実	子育て世帯が地域から孤立することがないように、利用者のニーズにあった子育て講座や交流の機会を充実させます。【総合戦略】
主な取り組み状況	・就学前の子どもと保護者を対象に、毎月1回子育て広場を開催した。 ・町内の中学校や認可保育施設、公共施設等で出張赤ちゃんサロンを開催し、子育て家庭が交流しやすい場を提供した。 ・親子で楽しめる外遊びや親子のふれあい講座を土日に実施した。
課題	・子どもが産まれた世帯に子育て講座や交流の機会があることが十分に周知できていない。
R7年度取り組み方針	・子育てに関する事業を地域の施設等で開催するなど子育て世帯が利用しやすい環境を整える。 ・子育て支援センターを地域の子育て拠点とし、多様な学習の機会や相談の場を提供する。 ・子育て教室を周知し、より多くの方へ子育てに関する情報や子育て世代間の交流の機会を提供する。
子育てに関する情報発信の充実	子育てに関する行政サービスの案内や地域の情報を、様々な方法を活用し、わかりやすく、積極的に発信します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・「志免町子育てガイド」を作成し、乳児訪問や子育て支援センターで配布した。 ・「幼稚園・保育園ガイド」を作成し、施設の紹介や手続きについて周知した。 ・子育てに関する講座やサークル、保育園の園開放の情報等を掲載した「にっこりカレンダー」を毎月発行し、HPやLINE配信を行った。 ・子育てモバイルサービスアプリで、乳幼児健診の予約や予防接種スケジュールの作成、子育て支援サービスについての情報を受け取りやすくした。
課題	・子育てモバイルサービスの新規登録者数は昨年度より減少した。
R7年度取り組み方針	・子育てに関する情報を入手する手段や学習しやすい環境を整える。 ・子育てモバイルサービスアプリを母子手帳交付時や乳幼児全戸訪問等の機会に周知し、登録者の増加及び予約サービス利用を促進する。

基本目標1(総合戦略)

1-c 子どもの障がいや発達に応じた支援を充実させる	所管課
●発達に関する相談や相談体制の充実 ●特別支援保育の充実 ●発達や成長の段階に応じた切れ目のない支援体制の構築	福祉課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R5実績値	実績値の年次推移	判定
加配保育士配置人数 (認可保育園等＋学童保育所) 【総合戦略】	人	26	45		A
1-c			41		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

発達に関する相談や相談体制の充実	発達に関する相談や子育て教室で経過を見ていくことで、発達や成長の段階に応じた切れ目のない支援を早い時期から行える体制を整えます。【総合戦略】
主な取り組み状況	- 療育が必要な子どもに対して、関係機関で連携し、障害児通所サービスの利用へつなげた。 - 未就学児及びその保護者を対象に心理相談員による個別相談や発達検査を行った。 - 発達が気になる子どもやその家族に対しての相談に応じ、必要な情報の提供や支援を行った。
課題	- 乳幼児発達相談事業は継続相談希望者が増加し相談希望者に十分対応できない。また、曜日ごとに心理士が異なるため、随時相談ニーズに対応できない状況がある。 - 家族が抱える問題が多様化・複雑化し、子どもの発達に影響を及ぼしている。 - 障害児通所サービスの利用者が増加傾向にある。
R7年度取り組み方針	- 心理相談員の委託日数を増やすなど、乳幼児発達相談の相談枠を増やし、随時相談ニーズに対応できる体制を整える。 - 発達特性が気になる子どもとその保護者からの相談が円滑に行えるよう関係各課の連携強化を行う。 - 事業所等の関係機関と連携体制を維持し、適切な支援を行う。
特別支援保育の充実	特別支援保育指導員の保育園などの巡回指導により、特別支援保育の質を向上させるとともに、加配保育士の適切な配置を促すなど、特別支援保育を充実させます。【総合戦略】
主な取り組み状況	- 町立保育園に加配保育士や支援員を配置し、私立教育保育施設の加配保育士配置に対する補助を行った。 - 町内の保育園・幼稚園等に対し、専門的な助言や相談に応じ障がい児に対する保育の充実を図るため、臨床心理士による巡回指導を行った。 - 町内保育園職員を対象に、質の向上を図るため、特別支援保育研修を実施した。
課題	発達が気になる子どもが増えている。
R7年度取り組み方針	- 保育の質の向上を図るため、町が行う特別支援保育研修に町内全ての保育施設に参加を促す。 - 町立保育園では、保育士や保育補助の適正な配置を進める。
発達や成長の段階に応じた切れ目のない支援体制の構築	福祉、保健、教育、医療など関係機関の連携を強化し、発達や成長の段階に応じた切れ目のない支援を行います。【総合戦略】
主な取り組み状況	- 障がいのある子どもなどの就学について、相談会や教育支援委員会などを実施して適切な就学に関する支援を行った。 - 就学前から就学後まで切れ目ない支援を行うため、関係課や関係機関と情報を共有した。 - 各課(福祉・健康・学校教育・子育て支援)に相談窓口があり、臨床心理士が子どもやその家族からの相談を受付けており、子どもの状況や必要な支援に応じて情報交換や協議を行った。
課題	関係課や関係機関との連携は進んでいるが、障がい児や発達が気になる子どもに関して、保護者からの相談がなかったり、保育園・幼稚園・学校との情報共有が十分ではないことがある。
R7年度取り組み方針	- 障がいのある子どもなどの就学について、相談会や教育支援委員会などを実施して適切な就学に関する支援を行う。 - 就学前から就学後まで切れ目ない支援を行うため、関係課や関係機関との情報を共有を更に進める。

基本目標1(総合戦略)

1-d 安心して子育てできる環境を整える	所管課
●妊娠期から出産、子育てまでの切れ目のない支援体制の強化 ●子育てに関する経済的負担の軽減	健康課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R5実績値	実績値の年次推移	判定
子ども施策に関する減免等経済的負担軽減事業数(国制度など町に実施判断がないものを除く) 【総合戦略】	件	8	9		B
1-d					

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

妊娠期から 出産、子育てまでの 切れ目のない支援体制の強化	安心して出産や育児を行えるよう、母子の健康を保持するための支援を行うとともに、心身の負担を軽減するために出産や育児に関して不安のある方や出産後のサポートなどの支援を行います。【総合戦略】
主な取り組み状況	・身体的・精神的に不安定な状況にあるハイリスク妊婦を抽出し、妊娠中から出産後までを安心した状態で過ごせるよう相談・支援を行った。 ・産婦人科及び助産師等専門職と連携し、「宿泊型」「通所型」「訪問型」サービスを提供した。 ・福岡県医師会と福岡県自治体の集合契約で妊婦健康診査14回分の助成を行った。
課題	・産後ケア事業を必要とする産婦が利用しやすいよう、非課税世帯以外の全ての利用者を対象とする利用者負担の軽減措置【2,500円/上限5回】が国から示されたが、対応できていない。
R7年度取り組み方針	・課税、非課税に関わりなく、産後ケアサービスが利用できるよう、国・県の補助金を活用し、利用者負担の更なる軽減措置を実施する。 ・妊婦健康診査費用の助成拡大を行う。
子育てに関する 経済的負担の軽減	社会経済状況や若い世代の子育てに関する意識の変化から、子育てに経済的な負担を感じる家庭が増加しているため、児童手当の支給や医療費の助成など子育て世帯への経済的な負担を軽減します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当の支給を行った。 ・子どもの医療費及びひとり親家庭の医療費に対する助成を行った。 ・食費等の物価高騰に直面し、特に影響を受ける低所得の子育て世帯に対し、子ども1人あたり5万円の特別給付金を支給した。(ひとり親世帯への給付は県が実施) ・出産・子育て応援給付金の交付及び伴走型相談支援を行った。
課題	・子ども医療については、近隣に高校生年代まで医療費を助成している自治体もあるため、同水準の助成を求める声がある。
R7年度取り組み方針	・子ども医療費、ひとり親家庭の医療費の助成拡大に向けて類似団体の状況と国民健康保険への影響を調査する。 ・出産・子育て給付金の支給による経済的な支援と共に、伴走型支援を継続的に実施していく。

基本目標1(総合戦略)

1-e 男女共同参画社会をつくる	所管課
●男女共同参画の推進	まちの魅力推進課

●生涯学習、文化活動の推進 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R5実績値	実績値の年次推移	判定
審議会などにおける女性委員の割合 【総合戦略】	%	34.2	40.0		A
1-e		↑	39.4		

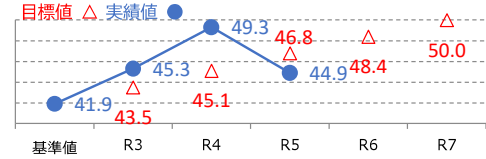
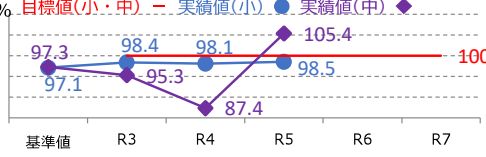
判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

男女共同参画の推進①	性別に関わらず自分らしく生きることができる社会になるよう啓発するとともに、「志免町男女共同参画行動計画」を策定し、男女共同参画を推進します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・「第2次志免町男女共同参画後期行動計画」の進捗状況調査を実施した。 ・志免町男女共同参画推進審議会の開催による進捗状況の管理を行った。
課題	・令和5年度に実施した住民意識調査では、「社会全体での男女の地位の平等感」について、男性優位であると考えている割合が7割を超えている。男性優位と考える女性の割合は80.4%、男性は68.4%と、それぞれ意識の違いがある。
R7年度取り組み方針	・住民に対しては、引き続き啓発活動を行う。 ・職員に対しては、計画等の周知を行いながら、意識の底上げを行う。
男女共同参画の推進②	地域や企業に対してワーク・ライフ・バランス についての周知と啓発を行います。【総合戦略】
主な取り組み状況	・商工会を通じて、6月に町内企業にワーク・ライフ・バランスに関するチラシを郵送し、啓発を行った。
課題	・啓発手段(チラシの郵送)が限られている。
R7年度取り組み方針	・チラシの内容は随時改善しながら、チラシ以外での啓発も併せて行う。

基本目標2(総合戦略)

総合戦略効果検証評価表 (事業実施年度:令和5年度)		第2期総合戦略 計画期間<<令和3年度~7年度>>	
基本目標	2. まちの未来を担う人材を育成する	関係課	学校教育課、社会教育課、まちの魅力推進課
関連するSDGsゴール 			

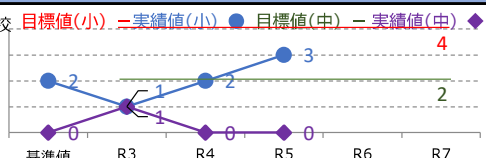
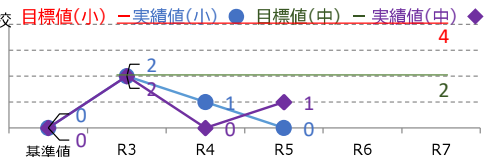
1. 数値目標の達成状況

数値目標	単位	基準値 目標の方向性	R5目標値 R5実績値	実績値の年次推移	判定
小中学校の教育内容と環境に満足している町民の割合【総合戦略】	%	41.9 ↑	46.8 44.9		b
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合(小6・中3)【総合戦略】	%	小 97.1 中 97.3 ↑ 全国平均値以上	小 80.3 中 68.6 98.5		b

判定:a…目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない、c…目標を達成していない

2. 具体的な施策の実施状況と方向性

2-a 確かな学力、体力の向上を図る	所管課
●確かな学力の向上 ●体力の向上	学校教育課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R5実績値	実績値の年次推移	判定
全国学力・学習状況調査において、全ての教科区分で全国平均を上回った学校数(小6・中3)【総合戦略】	校	小学校 2校 中学校 0校 ↑	小 4校 中 2校 3		B
2-a					
全国体力・運動能力、運動習慣等調査において体力合計点が男女とも全国平均を上回った学校数(小5男女・中2男女)【総合戦略】	校	小学校 0校 中学校 0校 ↑	小 4校 中 2校 0		A
2-a					

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

確かな学力の向上	確かな学力向上のため、「授業づくり」「集団づくり」「習慣づくり」の3つの柱から取組を推進します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・全国や県の学力調査の結果を踏まえ、各小中学校における課題を分析して3つの柱を基本とした志免町学力向上プランを策定し、町主催研修や実践交流会などを通して指導体制の改善や授業改善に取り組んだ。 ・授業づくりでは、中学校では県の学力向上の事業を受け、日常の授業改善に取り組んだ。また、小学校では算数科の少人数担当による指導や低学年教職員が高学年と一緒に指導する時間を設けるなど少人数指導を充実させた。 ・集団づくりではWEB-QUの活用による、より細やかな分析結果に基づく学級づくりに努め、コロナ禍を経て、様々な行事が復活する中で、自治活動や異学年交流による児童生徒の主体的な集団づくりが充実した。 ・習慣づくりについては、年間に家庭学習週間を定期的に設け、児童生徒の習慣化を目指すこと等に取り組んだ。
課題	・「授業づくり」については、小学校、中学校共に国語、算数・数学は全国を上回ったが、4年に1度実施される英語については全国を下回っている。 ・「習慣づくり」については、「家で自分で計画的に勉強する児童生徒の割合」が小中ともに全国平均以下で、前年度の結果よりも下回っている。
R7年度取り組み方針	・「授業づくり」については、引き続き、下位層の児童生徒の苦手としている問題を分析し、少人数指導を充実させ、個別最適な学びを保障するための授業づくりの改善に取り組む。英語の授業改善のため、町の外国語科授業力向上研修会を実施し、小中連携を視野に入れた取組を行う。 ・「習慣づくり」については、町内統一の「家庭学習の仕方」を基に、家庭で学習する目的を共有するとともに、中学校区で同時期に行う「家庭学習習慣」によって家庭・学校が一体となって、自ら学習する児童生徒の育成を丁寧に進める。 ・各校の「学力向上コーディネーター」を対象とした研修会を実施し、学力向上検証改善ロードマップを生かし、各校の取組を交流しながら学力の向上を目指す。

基本目標2(総合戦略)

体力の向上	児童生徒が運動やスポーツをする機会を充実させ、体を動かす習慣づくりの取組を推進します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・体育の授業でICTを活用した授業の振り返りを行い、児童生徒自身が自分の運動している姿を客観的に捉えることができるようになり、自己解決や他者からの指導の意味理解などにつながった。 ・各学校で計画的かつ継続的に「1校1取組」運動に取り組んだ。 ・志免町スポーツ推進委員の協力による小学校の体力測定を実施した。
課題	・授業以外で週3日以上運動やスポーツをしている児童生徒の割合が目標値を下回っている。 ・国の方針により、令和5年から令和7年の間で休日の部活動の地域移行を完了させるようになっている。
R7年度取り組み方針	・意図的に運動の機会を保障していくとともに、「1校1取組」や体育の授業などの中で、友達との協働活動や目標の自己決定の場を工夫するなどし、運動の楽しさを味わわせる工夫を行う。 ・引き続き、志免町スポーツ推進委員の協力による小学校の体力測定を実施していく。 ・土日の部活動の地域移行に向けて部活動指導員の増員及び勤務時間の拡充等を検討するとともに、地域の受け皿の状況を把握し、志免町にあった地域移行を進めていく。

基本目標2(総合戦略)

2-b 豊かな心を育てる	所管課
●道徳教育の充実	学校教育課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R5実績値	実績値の年次推移	判定
地域や社会をよくするために 何をすべきか考えることがある 児童生徒の割合(小6・中3) 【総合戦略】 ※全国平均値を100とした時の達成率を記載	%	小 90.1 中 89.3 全国平均値 以上	小・中とも 100以上 99.1		B
2-b					

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

道徳教育の充実	「ふるさと志免」を愛し、異文化を理解し、異なる価値観を受容する子どもを育てるため、自分ごととして「考え、議論する」道徳の授業を保護者に公開し、児童生徒の道徳性を育みます。【総合戦略】
主な取り組み状況	・道徳教育に体験活動等を効果的に関連づける、横断的なカリキュラム・マネジメントを通した道徳性の育成に取り組んだが、学校により差があった。 ・保護者や地域住民を対象に道徳科の授業を公開し、他人を思いやる心、郷土を愛する心など心の教育に対する理解を図るとともに、児童生徒が保護者等とともに自分自身の良さ等について考えることで自分の存在の大きさを実感できる機会となった。 ・道徳に関する校内研修を実施し、道徳の授業を充実させた。
課題	・郷土を愛する意識は小中学校ともに、全国平均値を下回っている。
R7年度取り組み方針	・コミュニティ・スクールの取り組みに基づき、小中学校ともに地域の方と、自分の住む地域をいかによりよく活性化していくか、そのために何ができるかについて考え、実践する場を設け、郷土を愛する心を育む。 ・引き続き、総合的な学習の時間や特別活動など他教科等とつながりを持たせ、体験的に道徳性を養う。 ・道徳科の授業力を向上させるために、児童生徒が主体的に考える道徳の授業づくりを学んだり、教材研究を学年全体で行うなど校内研修を充実させる。

2-c 安全で快適な教育環境を整える	所管課
●ICTを活用した教育環境の整備	学校教育課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R5実績値	実績値の年次推移	判定
授業にICTを活用して指導できる 教職員の割合 【総合戦略】 ※全国平均値を100とした時の達成率を記載	%	77.3 全国平均値 以上	小・中とも 100以上 100.3		S
2-c					

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

ICTを活用した 教育環境の整備	ICTを活用できる教育環境の整備を進め、ICTを活用した学習、指導方法の改善や小中学校のプログラミング教育の体系化を図るとともに、一人ひとりへの個別最適化された学びを保障します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・一人一台端末や各教室に配置された電子黒板や書画カメラを活用し、全小中学校がICTを活用した授業をほぼ毎日行うことができた。 ・校務運営や授業を支援するためのソフトを複数導入し、保護者との連絡がオンラインで可能となったり、教師と児童生徒との提出物のやり取りや児童生徒同士の交流もタブレット上で可能となった。
課題	・様々な機能を十分に使いこなせない教職員がいる。 ・活用の増加に伴い、それに対応する児童生徒の情報モラルの習得が不十分になっている。
R7年度取り組み方針	・引き続き、どの教員も指導の必要に応じたICT機器を活用できる能力を身に付けられるように研修を充実させる。 ・児童生徒が情報モラルについて学ぶ時間をカリキュラムに位置づけ、発達段階に応じた学びを深めることができるようにする。

基本目標2(総合戦略)

2-d 社会にはばたく力を育成する	所管課
●英語教育の充実 ●キャリア教育の推進	学校教育課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R5実績値	実績値の年次推移	判定
英検3級程度以上の英語力を有する 生徒の割合(中3) 【総合戦略】 ※全国平均値を100とした時の達成率を記載	%	70.7 ↑ 全国平均値 以上	100以上 109.6		S
2-d					

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

英語教育の充実	児童生徒の英語コミュニケーションへの意欲や英語力を高めるため、小学校教員と中学校英語教員へ研修を啓発するとともに、ALTや学習ソフトの活用を推進します。【総合戦略】
主な取り組み状況	- 各学校にALTを配置した。 - 生徒の英語力の向上させるため、英語学習支援員を配置し、英語力に応じた学習支援ソフトやICT機器を効果的に活用した。 - 今年度から教職員の外国語科の授業力を向上させるための研修を設け、小学校及び中学校の授業公開を通じた実践交流を実施した。 - 町の冬季の統一テストに小学6年及び中学3年生は英語科を取り入れ、児童生徒の英語力の向上を目指した。 - 小学生の希望者を対象に夏季休業中にイングリッシュ・デイ・キャンプを実施し、英語への興味関心を高めることに取り組んだ。また中学校ではオンラインによる国際交流を行い、同世代の外国の方との交流を体験し、異文化への興味関心を高めることができた。
課題	・小学校高学年での外国語の教科化及び中学校教員の若年化に伴い、教職員の外国語科の授業力が不足している。
R7年度取り組み方針	- 引き続き英語力に応じた学習支援ソフトやICT機器の効果的な活用を通して、生徒の英語力を向上させる。 - 小学低学年から英語への興味関心を高める取り組みを充実させ、教職員の授業力向上を目指す研修を充実させる。 - 英検を受験する生徒に対する受験料の補助を継続し、英語力及び学習意欲を向上させる。
キャリア教育の推進	自分で計画を立て、実行し、自分自身を振り返りながら、夢や目標をもつ子どもを育成するため、一人ひとりの「社会的・職業的自立」に向けて必要となる基盤や能力、態度を育てるキャリア教育を推進します。【総合戦略】
主な取り組み状況	- 総合的な学習の時間や特別活動などにおいて、職業人に学会など直接交流する機会を持った。 - 中学校では高校の体験入学や出前授業などを積極的にを行い、生徒に将来を実感できる活動を仕組んだ。 - コロナ禍で制限されていた二分の一人式や立志式を従来通りに実施した。
課題	・「将来の夢や目標をもっている」と回答した児童生徒の割合は、前年度の値を上回ったが、全国平均値と比較すると小学校は下回っている。
R7年度取り組み方針	・行事を生かした成長の節目の実感の機会を持つとともに、実際に体験したり、職業人と直接交流したりするなど、児童生徒が夢や希望を持てる機会を工夫し、発達段階に応じたキャリア教育を推進する。

2-e 子どもの健全育成を推進する	所管課
●子どもの活動機会の提供	社会教育課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R5実績値	実績値の年次推移	判定
町の行事や地域の活動、サークル活動などに参加した子どもの割合【総合戦略】	%	73.5 →	73.5 69.0		B
2-e					

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

子どもの活動機会の提供	子どもたちの豊かな人間性を育むため、多様な体験活動を経験できる体制を整備し、体験活動の機会を増加させます。【総合戦略】
主な取り組み状況	- 地域こども教室や生涯学習ジュニア講座などを開催した。 - 平日の放課後、学校施設の運動場や体育館などをジュニア団体に貸出を行った。 - 青少年が所属する文化・スポーツ団体に補助金を交付することでその活動を支援し、子どもたちのスポーツ・文化活動の機会を確保した。
課題	なし
R7年度取り組み方針	・引き続き、地域こども教室や生涯学習ジュニア講座を開催する。また、青少年育成団体への支援を行う。

基本目標2(総合戦略)

2-f スポーツ活動を支援する	所管課
●スポーツ活動の振興	社会教育課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R5実績値	実績値の年次推移	判定
スポーツ行事の参加者数	人	4,510	4,600		B
2-f		↑	928		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

スポーツ活動の振興	すべての世代の人々が交流を深め、心身の健全な発達と豊かな人間性を育むことができるよう、スポーツ協会と連携し、スポーツ活動の機会をつくります。【総合戦略】
主な取り組み状況	・町のスポーツ活動を広く推進しているスポーツ協会への運営サポートと補助金の交付を行った。 ・スポーツやレクリエーションの普及啓発を行うスポーツ推進委員会の事務局として、活動を支援した。 ・新体カテスト会をスポーツ推進委員と実施内容を検討して開催した。
課題	・子どもに関しては、塾や習い事があり、また、青年期から壮年期にかけては、仕事を中心となった生活になっているため、イベントの参加やスポーツをする機会が減少傾向にある。
R7年度取り組み方針	・スポーツ推進委員やスポーツ協会と連携して、スポーツイベントやレクリエーション等の情報提供やスポーツ活動の普及啓発に取り組む。

2-g 生涯学習・文化活動を支援する	所管課
●生涯学習、文化活動の推進	社会教育課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R5実績値	実績値の年次推移	判定
講座内容に満足している講座生の割合	%	97.9	99.0		B
2-g		↑	96.9		

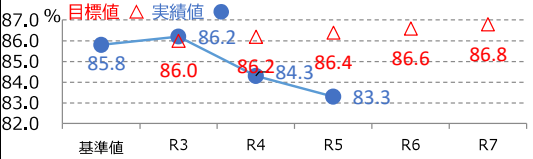
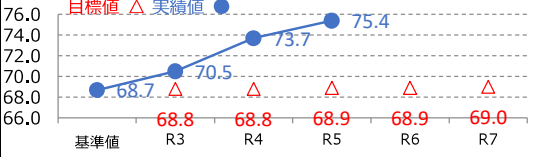
判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

生涯学習、文化活動の推進①	町民の生涯学習、文化活動への意欲を高めるため、文化協会と連携し、情報提供を行うとともに、文化祭などの成果を発表できる機会をつくります。【総合戦略】
主な取り組み状況	・町文化活動の推進役として様々な活動(芸能発表会・美術展等)をしている文化協会に助成金を交付した。 ・文化協会や商工会等と連携して11月初旬に芸能発表・屋外イベント・美術作品展示等を実施した。 ・図書館の教養講座は、コロナ禍を経て再開した。 ・生涯学習館の講座では、受講生を増やすため、講座開催の周知についてホームページ、広報紙など、様々な手段で情報発信を行った。 ・「生涯学習館フェスタ」は、コロナ禍を経て開催した。
課題	・講座の参加者が少なくなっているため、自主サークルへの移行がなくなっている。 ・文化協会会員の高齢化に伴い、団体の解散や脱退などが増加傾向にある。
R7年度取り組み方針	・引き続き、町民が参加しやすい講座を開催する。 ・文化協会と連携をし、様々な活動の支援と会員確保に向けた取り組みを継続していく。
生涯学習、文化活動の推進②	町民が国際理解を深め、国際感覚を育むための講座などを開催します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・外国人のための日本語講座を開催した。 ・国際交流事業(イングリッシュプログラム)を実施した。
課題	・イングリッシュプログラムは応募定員に対し応募者数が多く抽選となった。
R7年度取り組み方針	・引き続き、イングリッシュプログラムの定員設定を見直ししながら、国際交流事業を実施する。

基本目標3(総合戦略)

総合戦略効果検証評価表 (事業実施年度:令和5年度)		第2期総合戦略 計画期間<< 令和3年度~7年度 >>	
基本目標	3.誰もが健康に生き生きと暮らすことができるまちをつくる	関係課	健康課、福祉課
関連するSDGsゴール	   		

1. 数値目標の達成状況

数値目標	単位	基準値 目標の方向性	R5目標値 R5実績値	実績値の年次推移	判定
自立高齢者(65歳以上で介護認定を受けずに生活している高齢者)の割合【総合戦略】	%	85.8 ↑	86.4 83.3	 目標値 △ 実績値 基準値 R3 R4 R5 R6 R7 85.8 86.0 86.2 84.3 86.4 86.6 86.8 83.3	b
心身がともに健康だと感じる町民の割合【総合戦略】	%	68.7 ↑	68.9 75.4	 目標値 △ 実績値 基準値 R3 R4 R5 R6 R7 68.7 68.8 68.8 68.9 68.9 69.0 70.5 73.7 75.4	a

判定:a …目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない、c…目標を達成していない

2. 具体的な施策の実施状況と方向性

3-a 町民の健康意識を高め、健康管理・健康づくり活動を促進する	所管課
●健康づくりの啓発と活動機会の充実 ●心の健康づくりの啓発と人材育成	健康課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R5実績値	実績値の年次推移	判定
日頃、健康のための取組(3項目以上)を行っている町民の割合【総合戦略】	%	66.0	67.8		S
3-a		↗	69.0		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

健康づくりの啓発と活動機会の充実①	「健康しめ21」に基づき、健康に関する意識向上を図り、ライフステージに応じた町民の主体的な健康づくりを支援します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・自主的な健康づくりの推進の為、ウォーキングイベントを開催し、啓発活動を実施した。 ・生活習慣病の予防や健康意識の向上を目的に、インセンティブ事業「90日間体重測定チャレンジ」にも取り組んだ。 ・福岡県が実施する「ふくおか健康ポイントアプリ」を活用し、健康づくりの意識付けを目的として抽選で参加賞を進呈するイベントを実施した。
課題	・健康づくりの意識や行動変容の取組は世代によって異なる。
R7年度取り組み方針	・特に健康づくりの意識が低い働き世代(30～50歳代)にも健康しめ21推進イベント等で啓発を行う。 ・生活習慣病の予防や健康意識を高める「90日間体重測定チャレンジ」を継続して行う。
健康づくりの啓発と活動機会の充実②	地域公民館など身近な場での健康づくりの機会を充実させます。【総合戦略】
主な取り組み状況	・栄養士・運動指導員の公民館への講師派遣は、8町内会で活動を行うことができた。 ・地域教室は1教室増加した。
課題	・地域教室の参加者には高齢者が多く、急激な活発化は難しい。
R7年度取り組み方針	・地域教室が意欲を持って活動継続ができるように支援する。
健康づくりの啓発と活動機会の充実③	食生活改善推進会による親子料理教室や小学校での食育教育などを通じた食育推進を支援します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・ヘルスマイト養成教室を開催し、新たな食生活改善推進委員の人材育成を行った。 ・食育推進のため離乳食講座や夏休み親子料理教室などを実施した。
課題	・新たな推進員としての人材が十分でない。
R7年度取り組み方針	・継続して食育推進を支援できる体制を維持するため、ヘルスマイト養成教室を開催し、食生活改善推進員を担う人材を育成する。 ・地域での親子料理教室などの食育推進活動がより充実した内容となるよう、講師として栄養士を派遣する。
心の健康づくりの啓発と人材育成	心の健康づくりについて、相談窓口の紹介などを行い、啓発するとともに、ゲートキーパーなどの自殺対策を支える人材を育成します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・こころの健康づくり相談専用ダイヤルや精神保健福祉士による対面型相談を実施した。 ・令和5年度より精神保健福祉士を配置(拡充)したため、随時的にも相談対応できるようになった。 ・町民及び役場職員を対象にしたゲートキーパー養成講座を難度(初級編・実践編)を分けて開催した。
課題	・コロナ禍で人とのコミュニケーションが希薄になり、悩みを抱え込む人が増加する傾向にある。 ・ゲートキーパーの認知度が低く、相談につながっていないケースが多いと思われる。
R7年度取り組み方針	・事業の周知に継続的に取り組む。 ・ゲートキーパーの認知度や自殺予防の重要性を知ってもらうための啓発を行う。

基本目標3(総合戦略)

3-b 地域で高齢者を見守り、支援する	所管課
●町民の互助意識の啓発と町民主体の見守りの支援 ●地域ネットワークの構築	福祉課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R5実績値	実績値の年次推移	判定
暮らしやすい地域であると感じる 高齢者の割合【総合戦略】	%	58.7	62.9		S
3-b		↑	73.5		
地域生活に心配になることが ないと感じる高齢者の割合 【総合戦略】	%	12.9	15.3		A
3-b		↑	13.2		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

町民の互助意識の啓発と 町民主体の見守りの支援	町民の互助に対する意識を啓発し、町民主体による見守りを支援します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・協定を結んだ町内会に高齢者の見守りに同意された方のリストを提供し、町民主体による見守り活動を支援した。
課題	・名簿を提供している町内会は全体の半数程度にとどまっており、高齢者見守りの取組に地域差がある。 ・身寄りのない高齢者や認知症高齢者の増加に伴い、日常生活上の意思決定、公的機関での手続きや死後事務が円滑に進まないケースが増えている。
R7年度取り組み方針	・町内会が行う見守り活動を引き続き支援する。 ・判断能力が不十分な人へ成年後見制度の利用を促進するとともに、権利擁護支援の中核となる機関を設置する。
地域ネットワークの構築	地域ケア会議で地域課題を検討し、地域のネットワークを構築します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・地域包括支援センター職員と地域の医療・介護の専門職と一緒に地域ケア個別会議を行った。 ・地域ケア個別会議で抽出された地域課題の解決策について、地域ケア推進会議で検討した。
課題	・課題解決に向けた具体的な取り組みの施策に短期間でつなげることが難しい。
R7年度取り組み方針	・地域ケア個別会議で抽出された地域課題を地域ケア推進会議で検討し、課題解決に向けた具体的な取り組みにつなげるために、地域ケア個別会議と地域ケア推進会議の運営方法の見直しを行う。

基本目標3(総合戦略)

3-c 高齢者の社会参加と生きがいづくりを支援する	所管課
●高齢者の交流場所の情報提供 ●高齢者の地域活動と社会活動の促進	福祉課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R5実績値	実績値の年次推移	判定
シルバー人材センターへの加入人数 【総合戦略】	人	283	300		B
3-c		↗	254		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

高齢者の交流場所の情報提供	高齢者が地域活動に参加できるよう、地域の交流の場となる居場所の情報を提供します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・居場所事例集を町内会、事業所、医療機関等に配布し、居場所について周知した。 ・町民からの居場所や趣味サークル活動等に関する問い合わせに対し、随時情報を提供した。
課題	・公共施設や地域において、有志で活動している趣味サークル等に関する情報を把握できていない。
R7年度取り組み方針	・高齢者の居場所となるような活動について情報を収集し、事例集等を活用した周知を進める。
高齢者の地域活動と社会活動の促進①	高齢者の地域活動を活性化するため、シニアクラブを支援します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・シニアクラブの活動に対し補助金を交付するとともに、総会や大会等の活動を支援した。
課題	・シニアクラブの会員数は年々減少しているが、会員の増加につながる有効な打ち手がない。
R7年度取り組み方針	・引き続きシニアクラブの活動を支援する。
高齢者の地域活動と社会活動の促進②	高齢者が就労を通して生きがいを感じながら地域社会で活躍できるよう、シルバー人材センターへの加入促進を図るため、事業活動を支援します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・シルバー人材センターの事業運営が円滑に行われるよう、運営費の一部を補助した。
課題	・シルバー人材センターの活動に対し、運営費補助以外の手段による支援が十分できていない。
R7年度取り組み方針	・シルバー人材センターへの加入案内や業務発注等を通じ、事業活動を引き続き支援する。

基本目標3(総合戦略)

3-d 介護予防と健康づくりによる自立した生活を支援する	所管課
●フレイルや閉じこもりの予防機会の提供	健康課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R5実績値	実績値の年次推移	判定
公民館などでの介護予防教室に 参加した高齢者の延べ人数 【総合戦略】	人	6,187	6,250		B
3-d		↑	1,674		

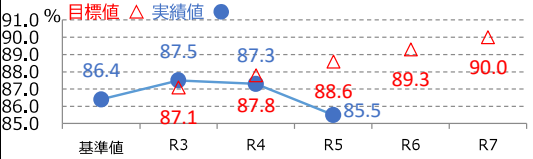
判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

フレイルや閉じこもりの 予防機会の提供	転倒予防、フレイル及び閉じこもり対策として、介護予防教室を住まいから歩いて通える公民館などで開催します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・地域の公民館で2か月に1度の頻度で介護予防教室を開催した。
課題	・コロナ5類移行後も感染に対する不安があり、コロナ前と同様の事業を実施することができない。
R7年度取り組み方針	・地域の医療機関と連携して公民館等で介護予防教室を開催し、フレイル予防や、閉じこもり予防に取り組む。

基本目標4(総合戦略)

総合戦略効果検証評価表 (事業実施年度:令和5年度)		第2期総合戦略 計画期間<<令和3年度~7年度>>	
基本目標	4.ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的なまちをつくる	関係課	まちの魅力推進課、生活安全課、都市整備課、経営企画課、総務課
関連するSDGsゴール			

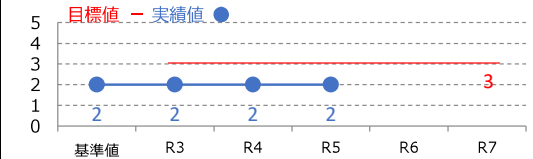
1. 数値目標の達成状況

数値目標	単位	基準値 目標の方向性	R5目標値 R5実績値	実績値の年次推移	判定
これからも志免町に住み続けたいと思う町民の割合	%	86.4 ↑	87.8 85.5		b

判定:a…目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない、c…目標を達成していない

2. 具体的な施策の実施状況と方向性

4-a まちの魅力を発信する	所管課
●イベントの情報発信と開催支援	まちの魅力推進課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R5実績値	実績値の年次推移	判定
まちの魅力発信イベント開催数 【総合戦略】	件	2 ↑	3 2		B
4-a					

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

イベントの情報発信と開催支援①	商工会や町内の団体などによる地域資源を活用したイベントなどの開催を支援します。【総合戦略】		
主な取り組み状況	・商工会主催の商工まつり、商工ミニフェスタの開催を名義後援した。 ・商工会青年部が行う花火の打ち上げについて、補助金を交付し、町の窓口として支援した。 ・住民団体である「志免68」が行う音楽イベント「タテコウヤグライブ」、「チーム前向き」が行う「夏まつり」、「シメサイ実行委員会」が行う「志免祭」を名義後援した。		
課題	なし		
R7年度取り組み方針	引き続き、商工会や町内の団体などのイベント開催を支援する。		
イベントの情報発信と開催支援②	住民活動団体と連携し、まちを活性化するイベントなどを町内外へ発信します。【総合戦略】		
主な取り組み状況	・中の坪公園において、住民活動団体と連携しイルミネーションの点灯イベント「ともにともそうプロジェクト」を行った。その他、上記①②などの住民活動団体が行うイベントについて広報した。		
課題	なし		
R7年度取り組み方針	引き続き、商工会や町内の団体などと連携しながら発信していく。		

基本目標4(総合戦略)

4-b 地域の商工業と新たな創業者の育成を支援する	所管課
●新規創業者の育成支援 ●創業や事業拡大の支援を目的とした町有地や公共施設の利活用の促進 ★チャレンジプロジェクト	まちの魅力推進課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R5実績値	実績値の年次推移	判定
起業塾の参加者数 【総合戦略】	人	8	10	目標値 - 実績値	S
4-b		24			
産業振興の視点で町有地や施設を 利活用した件数(計画期間内累計)	件	1	2	目標値 - 実績値	B
4-b		0			

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

新規創業者の育成支援	糟屋南部3町商工会で策定した創業支援事業計画に基づき、商工会との連携による町内の新たな創業者の育成支援と情報発信を行います。【総合戦略】
主な取り組み状況	・創業支援等事業計画に基づき、3町(宇美・志免・須恵)合同の創業支援に関する「起業塾」を開催した。
課題	なし
R7年度取り組み方針	・引き続き、創業支援等事業計画に基づき、3町合同の創業支援に関する「起業塾」を行う。
創業や事業拡大の支援を 目的とした町有地や 公共施設の利活用の促進	町内の事業者の創業や事業拡大への町有地や公共施設の利活用を促進する機会をつくり、事業者の育成を支援します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・利活用できる町有地、公共施設を検討したが、該当するものがなかった。
課題	・町有地や公共施設で利活用できる場所が特定できない。
R7年度取り組み方針	・引き続き、町有地や公共施設で利活用できる場所について関係機関と連携しながら情報収集を行う。

基本目標4(総合戦略)

4-c 地域ぐるみの防犯活動の促進と防犯環境を整える	所管課
●地域の防犯機能の強化 ●防犯パトロールの実施と防犯灯の設置支援 ●管理不全な空き家対策の実施	生活安全課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R5実績値	実績値の年次推移	判定
日常から防犯対策を行っている町民の割合【総合戦略】	%	87.0 ↑	87.8 83.9		B
4-c					
刑法犯認知件数【総合戦略】	件	241 ↓	210 258		B
4-c					

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

地域の防犯機能の強化	志免町地域安全安心センターを拠点として、地域の防犯機能を強化します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・地域防犯の拠点として「安全・安心センター」内に志免交番があり、定期的に交番連絡協議会に参加し、粕屋警察署管内・志免交番管内の犯罪及び交通事故について情報共有を行った。 ・地域へは「防犯ふくおか」による防犯活動等、「交番だより」による管内の状況と注意をお知らせするため、町内会で回覧を依頼した。 ・かすや中南部広域消費生活センターでは消費者問題の相談に対応した。
課題	・町民一人ひとりの防犯意識は向上しているものの、目標値までには達成していない。 ・犯罪被害を受ける高齢者が増加している。
R7年度取り組み方針	・町民一人ひとりが防犯対策ができるよう粕屋警察署・志免交番と協力した取り組みや防犯指導員による出前講座、消費生活相談員による出前講座、広報・回覧等で「自助、共助」の方法についての啓発を行う。
防犯パトロールの実施と防犯灯の設置支援	防犯指導員による青色回転灯付きパトロールカーでの地域防犯パトロールを行うとともに、地域の防犯灯の設置を支援します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・児童生徒の登下校時間に防犯指導員が青色回転灯付きパトロールカーで町内を巡回した。 ・地域における犯罪防止のため、町内会が設置した防犯灯の設備費及び電気料金の一部を支援した。
課題	なし
R7年度取り組み方針	・地域における犯罪防止のために、継続して町内会が設置する防犯灯への支援を行う。
管理不全な空き家対策の実施	管理不全な状態で放置されている空き家の所有者に、適正に管理するよう助言や指導を行うとともに、管理不全な空き家を早期に把握するため、防犯指導員による町内巡回を実施し、地域住民からの情報提供を呼びかけます。【総合戦略】
主な取り組み状況	・町内会や近隣の町民による空き家の情報提供を受け職員が現地確認を行い、管理不全な空き家については、所有者に適正管理の指導・助言を行った。 ・専門的な知見を有する者を含めた空家等対策協議会を開催し、町の空家等対策の指針となる計画の策定や空家等対策に関する協議を行った。
課題	・経済的な負担等で空家等の所有者による適正な管理が進まない。
R7年度取り組み方針	・空家等の所有者の経済的な問題を解消し、空家等の解体の促進を図るため、空家等の解体費にかかる補助金制度を設ける。

基本目標4(総合戦略)

4-d 災害時に迅速に対応できる防災体制を確立する	所管課
●消防団員の確保 ●自主防災組織の活動支援と人材育成	生活安全課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R5実績値	実績値の年次推移	判定												
日常から防災対策・準備している 町民の割合 【総合戦略】	%	68.1	69.0	<table><thead><tr><th>年次</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値</td><td>68.1</td></tr><tr><td>R3</td><td>73.2</td></tr><tr><td>R4</td><td>71.7</td></tr><tr><td>R5</td><td>72.1</td></tr><tr><td>R7</td><td>69.0</td></tr></tbody></table>	年次	実績値 (%)	基準値	68.1	R3	73.2	R4	71.7	R5	72.1	R7	69.0	S
年次		実績値 (%)															
基準値	68.1																
R3	73.2																
R4	71.7																
R5	72.1																
R7	69.0																
4-d		72.1															
消防団員の人数 【総合戦略】	人	170	180	<table><thead><tr><th>年次</th><th>実績値 (人)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値</td><td>170</td></tr><tr><td>R3</td><td>158</td></tr><tr><td>R4</td><td>147</td></tr><tr><td>R5</td><td>133</td></tr><tr><td>R7</td><td>180</td></tr></tbody></table>	年次	実績値 (人)	基準値	170	R3	158	R4	147	R5	133	R7	180	B
年次		実績値 (人)															
基準値	170																
R3	158																
R4	147																
R5	133																
R7	180																
4-d		133															
自主防災組織設置数 【総合戦略】	組織	26	27	<table><thead><tr><th>年次</th><th>実績値 (組織)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値</td><td>26</td></tr><tr><td>R3</td><td>26</td></tr><tr><td>R4</td><td>26</td></tr><tr><td>R5</td><td>26</td></tr><tr><td>R7</td><td>27</td></tr></tbody></table>	年次	実績値 (組織)	基準値	26	R3	26	R4	26	R5	26	R7	27	B
年次		実績値 (組織)															
基準値	26																
R3	26																
R4	26																
R5	26																
R7	27																
4-d		26															

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

消防団員の確保	地域防災力の要となる消防団員を確保します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・消防団員の活動内容を知ってもらうために、広報紙やホームページにて周知した。 ・分団ごとに特色のあるチラシを作成し、管轄の町内会に配布した。 ・管轄町内会の行事等に参加し、消防団のPR活動を行った。 ・女性の持つソフトな面を活かして消防団のPR活動ができるよう、女性消防団員で構成する広報啓発班を設置した。
課題	・消防団員が減少している。
R7年度取り組み方針	・引き続き、勧誘活動のほか、団員募集のポスター掲示や社員紹介依頼のため町内の事業所訪問、消防団員募集のパンフレットを町の行事等で配布し、また、消防団に関心を持ってもらうように消防団の活動内容を広報紙やホームページにて周知する。
自主防災組織の活動支援と人材育成	自主防災組織の設置を促進するとともに、活動支援を行います。また、自主防災組織の中心となる人材を育成します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・出前講座等を通して地域における自主防災組織の結成促進を行った。 ・日本防災士会福岡県支部と連携して、自主防災組織の活動支援を行った。 ・自主防災組織の中心となる町内会長を含めた役員に、活動内容の助言等を行った。
課題	・町内会役員の交代により、結成後の実効性のある活動の継続が難しい。
R7年度取り組み方針	・引き続き、出前講座や日本防災士会福岡県支部と連携して、地域防災の要となる自主防災組織の結成、育成等の支援を行う。

基本目標4(総合戦略)

4-e 快適な住環境を整える	所管課
●地域交通の利便性の向上 ●時代と地域特性にあった建築規制の見直し	都市整備課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R5実績値	実績値の年次推移	判定
巡回バスの利用者数【総合戦略】	人	82,330	85,000		B
4-e		↑	55,768		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

地域交通の利便性の向上	町内公共施設などを利用する際の利便性向上のため、地域公共交通に係る専門部署を設けて、巡回バスを運行するとともに、時代やニーズにあった町内の交通手段について調査、研究します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・オンデマンドバス運行開始に向けて、地域公共交通会議を開催し、運行事業者や乗降場所などの合意を行った。 ・オンデマンドバス「のるーと志免」の運行開始に向けて、全体説明会や町内会説明会を開催した。 ・令和6年3月より、オンデマンドバス「のるーと志免」を運行開始した。 ・効果的な運行に向けて、システム提供事業者や運行事業者と定例会を開催した。
課題	・これまでの定時定路線の福祉巡回バスからオンデマンドバス(予約型)への転換により、利用方法などについての問い合わせが多い。 ・利用したい時間に偏りがあり、予約をとりづらい時間がある。 ・オペレーターによる電話予約は、電話がつながりづらい時間がある。
R7年度取り組み方針	・あらゆる広報媒体を活用し、利用方法や乗降場所などの案内を行う。 ・利用状況などを研究を行うとともに、関係事業者と連携し、町に合ったオンデマンドバスシステムの要件や運行シフトなどの調整を行う。
時代と地域特性にあった建築規制の見直し	高齢化がすすむ戸建ての住宅団地において、多世帯住宅や平屋住宅、バリアフリー住宅を建築しやすくするなど、時代と地域特性にあった建築規制の見直しを行います。【総合戦略】
主な取り組み状況	・2世帯住宅やバリアフリー住宅等の住宅モデルケースを用いて、建築規制緩和について検証を行った。
課題	・住民ニーズに合った建築規制の把握や見直しに対する住民との合意形成が一部できていない。
R7年度取り組み方針	令和6年度において、建築規制緩和に向けた都市計画の変更を行い完了予定のため、令和7年度は取り組みを行わない。

4-f 健全な財政運営を行う	所管課
●ふるさと納税の充実	経営企画課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R5実績値	実績値の年次推移	判定
ふるさと納税寄附額【総合戦略】	円	6億 5千万	9億		B
4-f		↑	3億 4千万		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

ふるさと納税の充実	外部資金を獲得するため、従来のふるさと納税を充実させるとともに、クラウドファンディング型ふるさと納税や企業版ふるさと納税といった新たな取組を活用します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・ふるさと納税について、プロポーザル方式による中間委託事業者の選定を行い、9月から新しい中間委託事業者での運営を開始し、新規返礼品の開拓などにより、前年比約17%増の寄附を集めた。 ・地域再生計画に基づく企業版ふるさと納税を募集し、4件の寄附をいただいた。
課題	・寄附を集める返礼品やポータルサイトに偏りがある。 ・総務省のふるさと納税に係る基準が、より厳しくなる可能性がある。 ・経費削減に係る手法の限界や新規事業者開拓に係る連携の煩雑さがある。
R7年度取り組み方針	・商工会や新たな中間委託事業者と協力して、寄附の柱となる返礼品の開発や返礼品提供事業者の新規開拓を進め、また、増収見込みのある新たなポータルサイトの追加などポータルサイトの見直しを行う。 ・クラウドファンディング型ふるさと納税の対象となる事業の企画について、各課と連携して取り組む。

基本目標4(総合戦略)

4-g 行政サービスの向上と情報化を進める	所管課
●ICTを活用した行政サービスの推進と行政運営の効率化	総務課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R5実績値	実績値の年次推移	判定
行政サービスに満足している 町民の割合【総合戦略】	%	69.3	70.0		S
4-g			78.7		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

ICTを活用した行政サービスの推進と行政運営の効率化①	町民の多様なライフスタイルや新しい生活様式に対応できるよう、行政手続きのオンライン化やSNSによる情報発信などICTを活用した行政サービスを行います。【総合戦略】
主な取り組み状況	- 行政手続きのオンライン化を推進すべく、国でも特に住民の利便性向上に資する手続とされている子育て・介護関係全26手続及び転出・転入ワンストップサービスを行った。 - デジタルデバインド(情報格差)をなくすため、スマホ出張教室を公民館にて開催した。
課題	- オンライン化できていない行政手続がある。 - デジタルデバインド(情報格差)がある。
R7年度取り組み方針	- 電子申請のシステム等を試行、検討することで、行政手続のさらなるオンライン化を進める。 - デジタルデバインド(情報格差)をなくすため、スマホ出張教室をさらに多くの公民館で実施する。
ICTを活用した行政サービスの推進と行政運営の効率化②	効率的な行政運営を行うため、ICTを活用した業務のシステム化とネットワーク化を行います。【総合戦略】
主な取り組み状況	- 公用携帯電話(スマートフォン)を導入し、電子契約の環境を整備したことで、今後の柔軟な働き方を実現する下地を整えた。 - 基幹システム標準化に伴う、標準仕様とのFit&Gap(標準化に向けた新しいシステムと現行システムの違いの分析)を行い、標準化に向けての業務の整理を行った。
課題	- コミュニケーションの手段(公用携帯電話の内線、職員PC内の機能、回覧、スケジュール等)が分かれているため、複数のプロセスが必要となり、業務の効率が悪い。 - システムの標準化に伴い、業務フローが大きく変わる。
R7年度取り組み方針	- コミュニケーションツールの集約(Microsoft365等の活用)や、生成AI等を利用することで、効率的な行政運営を目指す。 - システム標準化による業務の改善と合わせて住民の利便性向上を図るため、窓口(フロントヤード)改革を進める。